

今はどんな世代でも「自分の適量を知る」のが一番大切な事かなと振り返っています。

多くの好きなものに囲まれて暮らすのが好き・・でもないし。

かと言ってミニマリストのようにテーブルと椅子だけのリビングだと落ち着きません。

ざっくり言いますと、我が家の適量は「使っているものと、愛でるだけのもの少々を自分基準の量でもつこと」です。

収納方法に関しては「使用頻度の高いものは、目に見える場所へ置いて、生活様式が変わったらアップデートしていくこと」でしょうか。

安藤さんは良くご存知かと思います。

外へ屋根付きの収納を新設したり、クローゼットを作ったり、逆に収納を壊したりと常にその時の自分たちに合わせて変化させています。

オープン棚が多いのもそのためです。

不用品が直ぐに目に付いて、減らしたり、買い替えたりできるからです。

ただし、それは私があまり潔癖ではなく「埃はそれほど気にしないもんね」というタイプだから成り立っていると思います(苦笑)

上記は家全体のことでした。

下記からはスポットで思うところです。

- ①下足収納・・・本当は扉も無くし、1アクションで取り出せるといいなと思っています。
- ②ウオークインクローゼット・・・1アクションで取り出して使いやすいです。高い場所へ棚を作ると掃除が大変なので、無くてよかったです。
- ③洗面所・・・家族一人一人の専用木箱を利用して、物が混在しないようにしています。
- ④ロフト・・・減多に使わない物をしまっておけるので、便利です(ただし、年齢を重ねると、高所は怖いかなと思います)

やはり「今の自分に必要なもの以外は処分する」を始めてみるのが、収納を考える第一歩かな、と思う今日この頃です。